

臨床と哲学のあいだ

—— 人間科学の復興を目指して ——

西南学院講座 in Tokyo

日 時

2013年9/7(土) 13:30開始(13:00受付)

場 所

サピアホール 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー5階

主 催 共 催

学校法人 西南学院 哲学と臨床を語る会(代表/小林隆児)

定 員 受 講 料

200名 3,000円

応 募 期 限

2013年8月23日(金) 必着

ただし、その前に定員に達した場合は、締め切らせていただきます。

講 師

「保育現場からみた今日の学問的な危機」

鯨岡 峻 / 発達心理学者、中京大学教授

「人間科学における臨床研究の原理を考える」

竹田青嗣 / 哲学者、早稲田大学教授

指 定 討 論

西 研 / 哲学者、東京医科大学教授

山竹伸二 / 著述家

企 画 者

小林隆児 / 精神科医、西南学院大学教授

講座のねらい

学問の知の危機が叫ばれて久しい。学問の世界の目指すべき研究対象が日常生活から大きく遊離してしまったゆえの危機である。2年前の3.11はその象徴的な出来事として記憶に新しい。保育、教育、心理、医療、保健、福祉などの諸領域において、人と人が関わる中で営まれる臨床実践をいかに科学的に探求するか、多くの営みが行われている。その中では自然科学に倣って実証的研究が行われている一方で、量的研究に抗するようにして質的研究の試行錯誤が続いている。臨床現場に身を置く者にとっては、多様な研究と成果が乱立しているため、何をどのように評価したらよいか混迷状態にあるといってもよい。そこで大切になるのは、自然科学とは異なる人間科学の領域における臨床と研究はどのように考えたらよいか、その思考の原理を獲得することである。そこで、哲学的思索を背景に保育現場に入り、人間の生き様を深くとらえ、目指すべき現場のあり方を提案し続けている鯨岡峻氏と、フッサール現象学を基盤に、人間の日常生活に広く浸透している学問の知がもたらした諸矛盾に対してどのように向き合えばよいか発言し続けている哲学者竹田青嗣氏の両氏をお招きし、人間科学の臨床と研究の目指すべき方向性を模索する。

スケジュール

13:30 挨拶(G.W.パークレー西南学院院長)

13:35 講師の紹介(司会/小林隆児教授)

13:40 [問題提起]小林隆児教授(20分)

「臨床現場からみた今日の問題と人間科学に求められるもの」

14:00 [講演1]鯨岡 峻教授(1時間)「保育現場からみた今日の学問的な危機」

15:00 [講演2]竹田青嗣教授(1時間)「人間科学における臨床研究の原理を考える」(休憩 15分)

16:15 [討論]鯨岡 峻教授、竹田青嗣教授(司会/小林隆児教授)

指定討論(西 研教授、山竹伸二氏)と全体討論

18:30 閉会挨拶(小林隆児教授)

※講座の運営に支障を来す行為をされた場合は、ご退席いただく場合がございます。
※受講申し込みについては、裏面をご覧ください。

問い合わせ・申し込み先

西南学院東京オフィス [平 日]9:30~18:30
[土 曜 日]9:30~17:00(日、祝日、学院の定める休日は閉室)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サビアタワー10階
TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838
メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

『西南学院講座 in Tokyo』 受講申込書

記入上のご注意

- ①住所・氏名(フリガナ)・電話番号は、必ずご記入ください。
- ②年齢・職業等については、受講者層を把握し、講座の運営に役立てるために使わせていただきますので、お差し支えない範囲でご記入ください。

受講講座名	臨床と哲学のあいだ
住所	〒
フリガナ氏名	
電話番号	
年齢	才
職業	
今回の講座をどのような機会や媒体でお知りになりましたか?	

講師プロフィール

鯨岡 峻 takashi kujiraoka / 発達心理学者、中京大学教授

1943年生まれ。秋田県出身。京都大学文学部哲学科心理学専攻を卒業。島根大学教育学部教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授を経て、現在中京大学心理学部教授。専門は発達心理学、発達臨床心理学、保育心理学。主に関係論の立場から、人と人が関わる「界面」で何が営まれているかを明らかにすることを通して、心理学が取るべき方法論の問題を考究している。著書に、『両義性の発達心理学』(ミネルヴァ書房)、『育てられる者から育てる者へ』(NHKブックス)、『ひとがひとをわかるといふこと』(ミネルヴァ書房)、『エピソード記述入門』(東京大学出版会)、『エピソード記述を読む』(東京大学出版会)、『なぜエピソード記述なのか』(東京大学出版会)など多数。

竹田青嗣 seiji takeda / 哲学者、早稲田大学教授

1947年大阪生まれ。在日韓国人二世。早稲田大学政治経済学部卒業。明治学院大学国際学部教授を経て、現在、早稲田大学国際教養学部教授。哲学者、文芸評論家。在日韓国人であることを思想の出発点にしながら、現象学、プラトン、ニーチェをベースに、哲学的思考の原理論としての欲望論哲学を展開している。著書に、『現象学入門』(NHKブックス)、『人間的自由の条件』(講談社)、『人間の未来』(ちくま新書)、『完全解読カント「純粋理性批判」』(講談社選書メチエ)、『超解読フッサール「現象学の理念」』(講談社現代新書)など多数。

お申し込みは、この用紙に記入のうえ、FAX または郵送にて受け付けます。この用紙以外の任意の用紙またはハガキ、メールでも受け付けています。その場合は、必ず件名に「西南学院講座 in Tokyo」と記入してください。(申込受付確認の返信はいたしませんので、ご了承ください。)

お申し込みは先着順に受け付け、**7月上旬から** 順次、受講案内・受講料振込用紙を送付させていただきます。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サピアタワー10階
西南学院東京オフィス(担当/吉田)
TEL.03-5220-3737 FAX.03-5220-3838
メールアドレス tokyo@seinan-gu.ac.jp

開室時間 **[平日] 9:30~18:30 [土曜日] 9:30~17:00**
※日、祝日、学院の定める休日は閉室



JR東京駅から 新幹線専用改札口(日本橋口)より 徒歩約1分
八重洲北口改札口より 徒歩約3分
地下鉄東西線大手町駅から B7出口直結(サピアタワー地下入口)

個人情報のお取り扱いについて

受講申込時にお預かりした上記の個人情報は、当講座の実施・運営ならびに次回の講座や本学院主催の講演会等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。なお個人情報は、紙および電子データで保存し「西南学院個人情報保護規程」、
「西南学院個人情報取扱手引」に則って、第三者への無断提供、紛失、遺漏、改ざん等が無いよう、適切に管理いたします。